

# 議会だより

- 新年のご挨拶 ..... 2ページ
- トピックス ..... 3～4ページ
- 一般質問 ..... 5～9ページ
- 各委員会報告 ..... 10～14ページ
- 議会出前報告会 ..... 15ページ
- 討論・採決 ..... 16～17ページ
- 山吹グループ・編集後記 ... 18ページ



## 迎春

本年もよろしくお願い致します



第113号

新年のご挨拶



議長  
的場 輝夫



新たな年を迎えるにあたり、町民の皆様にご挨拶を申し上げます。

昨年末の衆議院選挙を経て、ようやく日本の政治の混迷が解消されようとしています。日本国には根底に横たわる重い課題が山積しています。

「一千兆円に及ぶ借財」「東北大地震からの復興・地震大国日本の減災防災対策」「急速な少子高齢化に伴う年金、医療、福祉対策と消費税の課題」「デフレ、不景気、雇用の課題」「日本国領土領海をいかに守るかの課題」「原発の安全とエネルギー政策」等々の解消を確実にを行うには、安定した政治体制が構築されることが絶対条件であり、自民党による沈着冷静な政局運営により、国民のための解決策を見いだしてくれる事を、切に願わずにはい

られません。  
我が町も、新たな町創りにむけ「コンパクトシティ構想」の第一段階の実施にむけ大きな一歩をふみだしました。

議会は、町政のチェック役としての責務を果たしていくため、「コンパクトシティ構想」が、身の丈に合う、真に我が町の将来のための事業となるよう「議会における付帯決議」を全会一致で採択し、議会や町民皆様の意志が反映されるものと致しました。

原発4基全てが稼働停止の我が町の窮状、日本の雇用、景気、経済に与える影響に鑑み、昨年九月に続き、「再度の議会決議」を行い、県や中央に「安全確認を速やかに行い、安全の確認された原発は稼働させることや、立地町の窮状への救済策」を、町長と共に強く対応し続けてきています。

新たなこの一年が、高浜町民の皆様への願いが少しでも叶えられ、幸せを感じて頂ける様、議会は真摯に努力を続けていく事を、お誓いし、年頭のご挨拶と致します。

新年のご挨拶



副議長  
栗野 明雄

明けましておめでとうございます。  
昨年末には政権交代が行われ、新しい年を新しい体制で迎えることとなりました。国の政治の変化が期待されることと思います。

高浜町におきましては、関西電力高浜発電所の再稼働の課題が、今年は大きくクロズアップされることと思います。日本全体の経済が冷え込んでいる中、地場産業である発電所が停止することが、地元経済に与える影響の大きさを実感されたことと思います。

また、今年は高浜地区では、佐伎神社の式年大祭が行われます。七年に一度の大きな祭りです。伝統文化の保存と大きな賑わいを期待したいと思います。

今年が閉塞感から抜け出し、大きな飛躍の年になりますことを念願しまして、新年のご挨拶に致します。



住民不安!! 新内閣に強く要望!!



発委  
第11号

「過疎地の郵便局効率化推進に  
反対を求める意見書」の提出



音海郵便局

平成24年11月6日町内音海区金森幹夫区長より「郵便局窓口営業についての要望書」が、町議会宛に提出された。その概要は改正郵政民営法が成立し、三事業一体サービスの確保、金融ユニバーサルサービスが義務づけられ、現在検討されている過疎地の郵便局の隔日営業や半日営業は今回の改正民営法の趣旨に抵触するものではないか、実施が決まれば今後過疎地域の郵便局の廃止につながっていくのではないかと、音海地区は独居高齢者、高齢世帯が多い地域であり、数年前にも他団体が撤退するなど郵便局は区民が生活していく上でなくてはならない唯一の機関であり、心配と不安から要望書が提出された。

この要望を受け議会運営委員長が、「過疎地の郵便局効率化推進に反対を求める意見書の提出について」を今議会で発委し全員賛成で可決した。

この意見書は平成24年12月27日付で新内閣に提出された。

過疎地の郵便局効率化推進に反対を求める意見書

改正郵政民営化法（以下改正民営化法）が成立し、三事業一体サービスの確保、金融ユニバーサルサービスが義務づけられたが、今年10月1日から発足した日本郵便株式会社において実施を検討されている過疎地の郵便局を隔日営業や半日営業とすることが実施されれば、地域住民にとって非常に不便なものとなり、改正民営化法の趣旨にも抵触することとなる。

また、隔日営業、半日営業の実施は過疎地域の郵便局の廃止にもつながっていくのは目に見えている。農協の支所が合理化により閉鎖された今、金融機関が郵便局しかない地域もある。郵便局に合理化されると地域の衰退が一層進むのは明らかである。

昨年来、東日本大震災はもとより各地で大きな災害が続いたが、郵便局は被災者救援のため、被災地の復旧、復興に大きな貢献をしており被災者の心の支えとなっている。

地域再生・地域振興の核となる郵便局は、過疎地域にとって必要不可欠であり、過疎地の郵便局の隔日営業や半日営業などの検討に反対するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

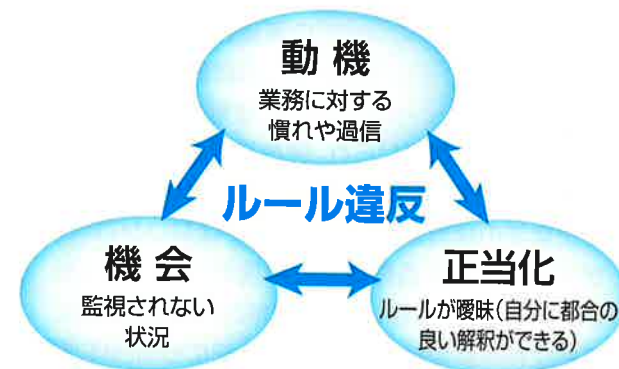
平成24年12月27日

福井県高浜町議会



## 高浜町における不祥事再発防止に向けた取り組み

一連の高浜町役場職員による不祥事について12月定例会において理事者側と議会全員協議会で再発防止に向け議論を重ねた。町長・副町長・総務課長から今回の事件に陥った町行政のルール違反を誘発するメカニズムの「動機」、「機会」、「正当化」の3つの要因が揃うことによって、ルール無視は引き起こされる特性要因が示された。



その対策として 1管理体制の改善 2業務処理システムの改善 3内部チェック機能の改善を徹底する。一般会計、水道会計、城山荘会計、団体会計等の不祥事の再発防止のために有効とされる項目について徹底した改善点が示された。1として外部調査員(公認会計士)による点検と職場風土の改善。2として収納管理事務検討委員会による個別業務の精査、再発防止策の策定。3としてダブルチェックの徹底を図り小さな違反も見逃さない仕組みづくりの構築。以上の行動計画を公表し、持続的な改善が行われていることを定期的に確認していくことを議会として了解した。

又、高浜町が目指す人事制度改革として不祥事を機に一日も早く住民の信頼を取り戻すために、役場組織はどう変えていくかどのような職員像を住民に示すのか、過去この検証や反省の上に立ち人事制度改革を行い職員の育成を図る点が示された。過去の人事等の年功序列、縁故採用、夫婦・親子の勤務、ブラックボックスの昇給・昇格など過去における問題点を一掃する取り組みも必要であることなども議論した。

### これから行うべき改革点

定員管理として仕事内容での人員の増減の限界を鑑みアウトソーシングを進めながら臨時職員の対応改善を進める。給与水準(ラスパイレス指数)が県下で池田町に次いで2番目に低い状況で評価制度と連動させた昇給を行い改善を図る。ミドル・アップ・アンド・ダウンとして、トップダウンでもなく、ボトムアップでもない中間層がどんどんメッセージを発信し、思いっきり能力を出せる仕組みをつくり、若い力から批判や刺激を受け、老いも若きも相互の関係の中で成長していく勢いのある組織を職員皆で創りたい旨が示された。以上の改善改革を進め職員全員がこれらのことを理解し、汗をかくことを厭わなければ、高浜町役場が『働いてみたい職場NO.1』になり高浜町が自治体間競争で『選ばれるまち』に変貌するものと確信すると示された。議会としても「災い転じて福となす」高浜町役場となるよう、行政と共に反省点に立って、改善することの重要性を確認した。

## 高浜町新庁舎公民館建設基本設計業務

### ■基本設計／42,307千円

●継続費(内31%)／24年度分 12,991千円  
一般会計補正予算可決

### ■公募型プロポーザル

●二次審査の6設計共同体より提案書の提出  
●プレゼンテーションとヒアリング及び  
選定審査委員会にて審査

- ◇最優秀提案／日本設計・未来プランニング 設計共同体
- ◇優秀提案／株式会社宗本晋作建設設計事務所・  
京福コンサルタント株式会社 設計共同体



庁舎・公民館  
設計業者決定



### 目の覚めるような町内活性化策を

答弁 来町者も利用できるプレミアム商品券を

磯部 武史 議員

【磯部】

原発停止により町内の経済状況は冷え込んでいる。

ある方からプレミアム商品券について提案がある。10%のプレミアムを付けるとし、1億円の予算を組めば1億円の経済効果がある。思い切った活性化策が必要ではないか。

【町長】

プレミアム商品券は、短期的かつ一定の即効性が期待できる。七年祭りによる祭り需要や、来町者にも利用できるような商品券について前向きに検討する。

### ◆赤ふんバスの運行拡大を

【磯部】

議会出前報告会で赤ふんバスについて意見をいただいた。時間延長や休日運行ができないか。また、六路・蒜畑・高野・今寺地区の子供たちの冬期通学に無料利用できないか。

【おきへん課長・教育長】

時間延長や休日運行に関しては、民業圧迫の懸念がある。休日に行われるイベント等を対象に実証実験し事業者との調整を図る。

冬期間の通学には利用できない状況であるが、京都交通や赤ふんバスも含め対応を検討する。

### ◆PET検査に助成を

【磯部】

9月定例会で質問したことから、若い世代の方々から要望がある。前向きに検討するというが、予算編成を前に進捗を問う。

【保健課長】

国民健康保険の特定健診は今年度、健康増進計画は来年度が見直しの年となる。その中でPET検査、マイクログレイ血液検査、脳ドックなど、いかに効率的に推進すべきか検討していく。



### 高浜町役場不祥事再発防止を急げ！

答弁 トップを柱に防止対策徹底する

山本 富夫 議員

【山本】

高浜町役場の一連の不祥事と今後の改善策・理事者の見解を求む。

【副町長】

去る、9月・10月と二度に亘り発覚した職員の公金着服事件は、町の責任者として事件を未然に防げなかった組織文化の重大な欠陥があったと深く反省している。原因として管理体制の不備・業務処理システムの不備・内部チェック機能の不備などである。再発防止に向け収納管理事務検討委員会を立ち上げ一定の方向性を示す。管理職員対象のコンプライアンス研修(法律の順守)を実施し組織の綱紀粛正を徹底していく。

【山本】

安土公有水面埋立土地利用について、①道路を含めた区画整理の計画。②関西電力設置予定のメガソーラーの方向性。③当地を福井国体の高浜町開催種目の会場にしては？ ④企業誘致・特殊スポーツ

【山本】

動物と車の接触事故多発について対策は取れないか。

【副町長】

獣害防止策については、役場内部で横断的に対応する。警戒標識の設置は必要で、関係機関との協議を進め対応する。

施設等の流入人口増など町の活性化に繋がる計画が必要では。

【副町長】

①埋立免許申請の「ウェルネスパーク青戸」としての認可がありウェルネス構想を中止し25年度に利用地基本計画を打ち出す。②利用地に発電用地認可をとり26年度着手予定。③トライアスロン競技の有力候補地として検討していく。④申請目的以外利用は利用計画を示し改めた承認手続きが必要であり、埋立用地内の道路線形を含め地元・関係機関等と協議し計画見直し、本町に相応しい活用策を進める。



## 平成25年度予算編成に当たり 取り組みについて

答弁 公共事業の前倒しを検討

横田 則孝 議員

【横田】

高浜発電所の稼働停止により本市に大きな影響を与えている。市内の景気が非常に落ち込み、全ての産業がダメージを受けている状況を見る時、短期的には地域の経済対策や雇用対策に力を入れるべきと考える。また、中・長期的には将来を見据えた、思い切った産業構造の転換などの政策が必要ではないか。

【町長】

今後再稼働の目途がたつまでの町内事業者の踏ん張りを支える施策を考えている。平成25年度予算編成に当たっては、即効性がある公共事業の前倒し発注や消費・誘客を誘引する施策を取り入れ、また「将来に繋がる事業」を効果的に組み込んでいきたい。  
高浜町が大きなターニングポイントを迎えていることを自覚しながら予算編成に取り組む。

◆エネルギー研究開発拠点化について

【横田】

現在、オールシーズン園芸施設の工事が進められているが、施設の主要電源に太陽光発電や風力発電などのエコなエネルギーを用いてみてどうか。環境に配慮した施設として国や県の補助金や支援を検討する必要があると考えるかどうか。

【まちづくり課長】

エコ農業の観点から、太陽光発電を利用する施設として費用対効果を検証しながら、国や県の補助金対応が出来るよう要望していきたい。



## 使用済み核燃料の関電の取り組みは

答弁 具体的な計画に至っていない

清常 光洋 議員

【清常】

使用済み核燃料の中間貯蔵について、これまでの一般質問の答弁で、一義的には事業者が設備するものであり、早急に働きかけるとの事であったがどうであったか。

【町長】

使用済み核燃料については、中間貯蔵施設に移すことを望んでいるが、現状では具体的計画に至っていない。私見ではあるが、緊急回避対策として、サイト内でのハイブリッド貯蔵も想定する段階にきているように感じている。

◆機構改革（人事管理）について

【清常】

機構改革がスタートしてから約3年8ヶ月経過するが、所期の目標の一つであった「庁舎内ムードの一新」についてどう評価しているか。11月開催の議会出前報告会において職員の挨拶、対応等について相当厳しい意見があった。



## いじめの実態と未然防止への取り組みについて

答弁 相談体制の充実、情報の共有化、連携を図る

大塚 ひとみ 議員

◆原発稼働停止による地元経済への影響と再稼働への道筋について

【大塚】

昨年と同様の質問をしたが、それから二年、状況は遅々として進まず、地元経済に及ぼすダメージは更に増しているが現状はどうか。  
また、安全が確認できたものは、再稼働させるという強い思いで、高浜3・4号機の再稼働への工程表をどう描いているか。

【教育長】

アンケートやヒアリングの結果、全業種にわたって発電所の影響が直接的に出ていないわけではないが、やはりほとんどの業種、多くの業者が影響を受けている現状変わりはない。再稼働の道筋については、原子力規制委員会による安全基準を早期に策定し、各プラントの去就をはっきりさせる事が重要でそれまでの支援策として、25年度・前期は町単独・県の支援策、後期は国の補正予算等での対応ができるよう尽力していく。また、原発の再稼働問題は、日本の経済にとって「今そこにある危機」といっても過言

ではなく再稼働に向けた環境を整えるべく、全国の原発立地自治体の先頭に立って国や関係機関に機動的かつ現実的な要請活動を展開していく。

【大塚】

文科省では様々な検討や対策が講じられているが、全国的にはいじめが広がっている。高浜町のいじめの実態と未然防止策は。

【町長】

実態は、全国で小・中学校とも、それぞれ3万件超、福井県内でも小・中学校ともに、約2000件の報告がある（23年度）。高浜町では、11月上旬までの集計で町内全体で15件（24年度）。文科省の問題対応の手引きが改訂され、いじめられた子どもの立場に立て判断するように指導されている。未然防止の取り組みは、教職員や教委関係者は研修会や講演会に参加し、学校では道徳や学級活動の時間に事例紹介での指導、相談員やスクールカウンセラー、養護教諭を中心とした相談体制の充実、学校関係者と教育委員会の意見交換、情報の共有化を図っている。

## 外部監査制度の導入について

答弁 外部監査の導入もひとつの方法であると考え

小幡 憲仁 議員

【小幡】

町職員による公金不祥事の再発防止には内部統制の仕組みの監査が必要である。このため監査委員が行う監査に加えて、外部の専門家による監査を実施できるように個別外部監査制度を導入してはどうか。

【副町長】

今回の不祥事を踏まえ個別外部監査を取り入れることもひとつの方法である。町職員の意識改革のため新たな監査方法を検討し信頼回復に努める。

◆公立図書館の充実について

【小幡】

町立図書館・学校図書館の充実が求められる。充実策を問う。

【教育委員会事務局長】

町立図書館は築27年が経過し老朽しているが蔵書数や貸し出し実績は他町と遜色ない。来年度以降、文化会館の改修工事と併せて、施設の増設とリニューアル工事を計

画している。学校図書館は基準冊数に達していない学校もある。今後、中央図書館との連携事業や読書会の実施、司書教諭の研修等で図書活動の充実を図る。

◆住宅リフォーム支援事業の店舗等への対象拡大について

【小幡】

町内業者施工による住宅改修にかかる費用の20%（最高20万円まで）を補助する「住宅リフォーム支援事業」について、地域経済の景気対策の一環で店舗等への対象拡大ができないか。

【建設整備課長】

店舗等への補助対象拡大は検討事項である。現在、個人住宅の補助需要が高いことから対象を店舗等へ拡大する前に住宅需要の掘り起しが効果的と考え、店舗等への対象拡大について時限的な予算拡充や補助内容の見直しについて検討する。



## 庁舎と公民館とは別途検討すべきでは 答弁 新公民館長を中心の活動に期待

上尾 徳郎 議員

【上尾】 近年のうちに、多くの管理職員が定年となるが、補充と管理職員養成など対応は。

【副町長】 今年度末退職予定者は6名で、5級課長補佐（課長試験合格）を職務評価をもって適任者を充足する。

「職場研修」「職場外研修」など、職責に応じた研修を受講し、管理職となり管理職研修や他の研修受講の機会を増やし、管理職としての能力向上を図る体制づくりに取組んでいる。

【上尾】

庁舎公民館建設検討委員会では、検討作業が進められているが部会などを設ける考えはないか。また、公民館については館長を早期に公募選任し、館長を中心とした検討委員会を設置すべきと思うが。

【町長】

館長を中心の取り組みは理想的である。館長選任後の協力体制をつくる必要がある。

【副町長】

建設検討委員会では、基本設計のトータル的な事項を検討し、職員によるワーキンググループの素案を諮っていく。公民館の運営面では、高浜地区区長会の推薦による専任館長中心の運営協議会を組成して、活発な活動を期待する。

【上尾】

来年度の城山・漁港周辺整備の推進計画と財源計画は。

【町長】

城山荘は計画を先延ばし、計画していたサイクル共生交付金は他の事業に充てる。

【副町長】

城山公園・漁港整備については、検討委員会にて項目ごの実施時期も含め検討・計画づくりを進める。事業財源はまちづくり交付金対象事業とし、公園整備、公民館建設、周辺道路、歩道整備の計画全体をパッケージで採択を受け活用を図っていく。

## 学校教育（いじめ）問題について

答弁 情報の共有化を図る



廣瀬 とし子 議員

【廣瀬】

全国の小中高でのいじめ問題は、今年度4月～9月迄に14万件発生している。文科省は緊急調査に追われているが、福井県では746件も発生している。高浜町の小学校・中学校での状況はどうなっているか。

大津の事件でも分かるように大変悲惨なケースもある。些細なトラブルもいじめとしてとらえる傾向もある。学校と教育委員会との連携を密にしてどんな些細な事でも共有して改善が必要である。

教育委員会としての様な対策を取り組んでいるか問う。

【教育長】

高浜町内小中学校の認知件数は、小学校8件、中学校7件である。いじめは、人間として絶対に許せない、強い認識を関係者が持つことである。大人の側に認識や見解の相違があるほど、いじめが助長され解決が困難なる。いじめを傍観するという行為も許されない行為という認識をもって指導をする。

【廣瀬】

校舎も老朽化していくが、地域避難場所以外に活用する考えはないか問う。

【総務課長】

行政も検討しているが、地域の要望等を考慮しながら、活用していただける理想的な事業者を探すのは困難な状況である。地域の皆さんと相談しながら、前向きに検討する。



## 砂防ダムの維持管理を問う 答弁 年1回点検を実施

粟野 明雄 議員

【粟野】

政治の基本は治山治水にある。高浜町には、多くの砂防ダムや土砂ダムがある。その多くが土砂で一杯になっていると思われる。山梨県中央自動車道の笹子トンネルの例もある。管理の現状を問う。

【建設整備課長】

砂防事業の実施は県が行っている。土砂の除去は行わないことになっている。施設点検は年1回目視にて行っている。コンクリート強度の調査は行っていない。必要な修繕は行う。

◆映画ロケ地へのアプローチを問う

【粟野】

22年の3月議会を高浜フィルムコミッションの設立を問うた。その後の取り組みを問う。

【まちづくり課長】

県ではロケーションガイドというPR用ガイドブックを作り制作会社・脚本家・監督に向けたアプローチを行っている。その中で16

スポットが掲載されている。地道にPR活動を続け環境が整えば思い切った誘致活動を行いたい。

◆役場の封筒にスポンサーを

【粟野】

住民課の窓口を利用するとき、受け取った文書を入れる封筒を町内から提供するようにしてはどうか。

【総務課長】

広告付き封筒を作成することはすでに全国でも例があり、法的にも問題はない。今後検討したい。

◆複式簿記に変更の考えはないか。

【粟野】

今の会計のあり方は、お金の収支だけの単式簿記である。複式簿記に改善しないか。

【町長】

不正経理などがしにくくなるが、費用が掛かると事務処理が煩雑になる。今後はまず研修受講から推進する。

## 災害廃棄物受け入れについて



渡邊 孝 議員

【渡邊】

災害廃棄物の受け入れ問題について、以下問う。

- ①受け入れ総量700トンで、放射能の累積量はいくらになると推定するか。②焼却期間中の放射能測定の計画は。③不燃物処分地での焼却灰の管理はどのようなか。
- ④災害廃棄物受け入れは「高浜町廃棄物の処理及び清掃に関する条例」に抵触するのではないか。

【住民課長】

- ①700トン処理すると910万ベクレルになる。②焼却期間中は、清掃センター、不燃物処分地で定期的に測定する。③焼却灰の上に覆土し、シートで覆う。④廃棄物処理計画は町長の専権事項であり、条例に抵触しない。

◆高浜町情報公開条例について

【渡邊】

高浜町情報公開条例では、その請求者は「町内に住所を有する個人、法人、その他の団体などとなっている。情報化社会の進展に伴い、町外

者など誰でも請求できるよう改善すべきではないか。

【副町長】

事業者による営利目的請求も増加していると聞く。慎重に検討したい。

◆街灯の改善について

【渡邊】

高浜中学校の登下校路の一部が夜間暗い。防犯上改善されたい。

【建設整備課長】

現地は、樹木が街灯を覆い光を遮り暗くなっている。定期的に樹木の剪定を行う。

◆城山公園整備について

【渡邊】

コンパクトシティー計画として城山公園整備計画が進められているが、そもそも町民からそのような要望がでているとは思えないが。

【町長】

町民とともに、「町民に愛される城山公園」をめざした整備を進める。多大な経費はかけない。

## 予算決算常任委員会

委員長 西出 秀雄

◇12月10日(月) 9時より

## 審議事項

付託案件の審査

## ●承認第5号

## 専決処分の承認

平成24年度一般会計補正予算(第5号) 984万円を追加。歳入歳出79億6298万4千円。

## 【審議(質疑)の概要】

## ◆総務費

政党が多くなったが、開票の改善策は。総務課長

衆議院議員総選挙の費用、9政党の届け出があり、前回の選挙と何も変わらない。ポスター掲示板の設置、撤去費は委託している。時間外勤務等件費で県から必要経費は出る。

## 【全員賛成で承認】

## ●議案第68号

平成24年度一般会計補正予算(第6号)

7547万1千円を追加。歳入歳出の総額80億3845万5千円。

## 【審議(質疑)の概要】

## ◆総務費

役場内の電話器更新費106万1千円。

副町長

3年契約でレンタル。106台分である。

新庁舎、公民館建設の基本設計の業者の決定について(1269万1千円)。

副町長

6社から1社に決定。県外業者で12月21日予定である。

## ◆民生費

介護保険繰出金2188万3千円に上った。

保健課長

新入所者がけいあいひの里、養梅園、グッとサポート等の利用増加。重度障害者医療費の助成金の増額、552万6千円等である。

## ◆衛生費

テレビ会議システム工事費479万3千円の増額について。

保健課長

研修医の教育、研修講義を実施する為丹南、敦賀病院、福井大学総合教育センターにつながる。月に3回講義を配信。

災害廃棄物の処理事業費、239万6千円に上った。

住民課長

災害廃棄物の放射線等の測定費。

## ◆商工費

観光振興対策事業費250万円について経済対策は。

まちづくり課長

嶺南地域における民宿の落ち込みに対する経済対策で、県2分の1の補助で、宿泊に対するふぐカニツアーへの1人5000円で200名分と、ひなまつりに運行する馬車の補助費等である。

## ◆農地費

公有財産購入費について笠原川の道路に接続するの、アスファルトか、上下水道は。

副町長

笠原川の道路に接続の予定。アスファルトで、平成26年完成をめざす。3月議会に予算を上げる予定。

## ◆土木費

住宅リフォーム支援事業費120万円の内訳は。

建設整備課長

1件限度額20万円で、6件分。出来るだけ多くの予算を組んで、全体のバランスを考えて予算を組む考えである。

## ◆教育費

高浜小学校校舎防水工事費減額404万4千円の内訳は。

教育事務局長

FRP工法防水から、場所が広く保護膜のいたみが激しいのでシート防水に見直した。

## 【賛成多数で可決】

## 総務産業常任委員会

委員長 磯部 武史

◇12月11日(火)

委員全員出席の下、当委員会に付託された7議案について審査を行い慎重審議の結果全議案について全員賛成で可決した。

継続審査となっていた請願1件と陳情2件について審査した。

## 議案第73号

■高浜町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告に準じた勤務時間の変更で勤務時間が8時間から7時間45分になる。

窓口業務も15分早く締めるという事か。

現在の17時30分から17時15分になる。電算は17時15分で止めてしまいが、それ以外は住民サービスの低下にならないよう対応する。

## 【全員賛成で可決】

## 議案第78号

■団体宮中山間地域総合整備事業(一般型) 高浜地区の計画変更

地すべり対策で、予定していた中山地係の暗渠排水工、客土工、鳥獣侵入防止施設整備工が廃工になる。



青葉グラウンド地滑り

鳥獣侵入防止柵の工事が廃工となったことに関連し、獣害対策について全町的な取り組みが出来ないか。

集落間で協議を重ねてきたが受益者負担等の問題など、それぞれの事情があり全町的に合意形成できするまでには至っていない。

## 【全員賛成で可決】

## 議案第79号

■高浜町道の駅の指定管理者の指定

## 陳情第3号

■住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める陳情

国の出先機関について、存続・充実をという事だが、新しい内閣も発足すると思うので、その方向性を見定めたうえで新たに陳情された方がいいのではないか。

## 【全員賛成で不採択】

## 陳情第6号

■地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の採択

地球温暖化対策は、全世界、特に先進国では積極的に行う必要がある。

森林を守るための税であり採択すべき。

化石燃料等の価格に上乗せするというものであるが、具体的な中身や、どの程度の負担になるのかわからない。

新しい政府で検討されるという事なので継続審査とした。

## 【賛成多数で採択】

## 厚生文教常任委員会

委員長 横田 則孝

◇12月12日（水）

## 審査事項

付託案件の審査

## ●議案第69号

■平成24年度高浜町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

療養給付費等負担金など公費負担割合について

国の療養給付費負担割合は、34%から32%に、国の財政調整交付金は9%で、県の財政調整交付金は7%が9%になり、公費での50%の負担割合は変更なしである。

## ●議案第70号

■平成24年度高浜町介護保険特別会計補正予算（第2号）

居宅介護住宅改修費について

住宅リフォーム支援事業との併用は区分けをして利用ができる。

利用状況として4月4件、5月3件、6月4件、7月3件、8月1件、9月3件の利用状況との報告。

## ●議案第77号

■高浜町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

条例改正について

「地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律」により、平成22年6月の閣議決定に基づき本条例の改正が生じたために上程した。



不燃物処理場

## 厚生文教常任委員会

## 委員視察研修

◇11月15日（木）・16日（金）

## ◇視察先

①長野県小布施町

「まちとしょテラソ」

②新潟県糸魚川「ジオパーク」

## ◆小布施町立図書館

「まちとしょテラソ」

長野県北部にある小布施町は面



小布施町立図書館「まちとしょテラソ」

積19㎞と同県の中でも最も小さい町である。人口1万1000人の町に年間延べ120万の観光客が訪ねている。

かつてその晩年を過ごした葛飾北斎を始め、地元の豪農商であった。高井鴻山が中心となり、幕末の文人たちが交流する地でもあったので、今も文化や教育を大事にする風土が残っている。

新しい町立図書館は町民への参加を促し意見、要望を採り入れな

がら、建設された。敷地には小布施町役場やホールなど公共施設が集まっている。図書館は隣接する小学校の校庭に面している。まちとしょテラソがオープンし「学びの場」「子育ての場」「交流の場」「情報発信の場」という4つの理念のもとに交流と創造を楽しむ文化の拠点となる複合施設である。絵本コーナーにはちよつとした飲食が出来る小さなカフェテーブルも置かれてあり、子ども・大人も観光客やグループでもタイムシェアすることで全体を使い切れる設計になっている。受験前は図書館を利用する学生が多く、学生同士のコミュニケーションを取る場所である。

三角形の外周は明るい窓辺の空間が続き、昼間は電灯を使用しない。素晴らしい図書館である。

## ◆糸魚川ジオパーク

日本唯一の硬玉（ヒスイ）産地であり日本を東西に分ける大きな溝（フォッサマグナ）の地でもある。糸魚川は、日本で初めて世界ジオパークに認定された。

市内に24か所あるジオサイトを中心に紹介されている。

## 原子力対策特別委員会

委員長 上尾 徳郎

◇12月14日（金）

## ◆安全規制の検討状況について

原子力規制庁・規制委員会の森田地域原子力安全統括管理官より説明を受けた。

規制委員会の発足の経緯と組織そして、原子力規制組織体制・制度改革のポイントとして、「規制」と「利用」の分離の徹底・原子力安全規制の一元化・透明性の高い情報公開・福島事故を踏まえた原子力規制の転換による、新たな安全基準の策定と制度の整備。防災体制の強化として防災会議を設置し、防災対策推進体制の整備と強化、放射性物質の拡散シミュレーションなどの説明を受けた。

委員から廃炉時の規制やオフサイトセンターのあり方、緊急時の避難経路、拡散データのミス原因は、安全基準前倒しの対応、活断層問題、マスコミや風評に流されない科学的根拠に基づく基準を求めるなど多くの意見要望や質問があった。

## ◆発電所の現状と

## 電気料金値上げ申請について

関西電力京都支店堀田副支店長ほか関係本部担当者、高浜発電所長谷所長ほかの出席の下、今回の電気料金値上げの背景と今後について、高浜発電所の現在の状況について説明を受けた。

高浜発電所では、緊急安全対策を既にとって実効性の向上に自主的に取り組み、防潮堤や地震事務棟の設置等、更なる安全性向上対策を安全規制見直しに対応しつつ、新知見など反映し世界最高水準の安全性を目指して取組んでいるとの報告を受けた。

電気料金値上げについては、原発停止による火力発電比率の高まりに伴う火力燃料費の増加によるもので、経常損失は過去最大の赤字となる見込みで徹底した経営効率化に取り組んでいくが、燃料費等の増加分を吸収しきれず値上げ申請となった。その後、報告を資料に基づき質疑を行った。

## 地域医療対策特別委員会

委員長 廣瀬とし子

◇12月13日（木）

◇複合福祉施設「であいの郷」

代表 山本勝則

## ◆施設の現状と課題について

山本代表から説明を聞き、意見交換を行った。

現在高浜町の高齢化率は25%であり、25%以上が基準の「超高齢化社会」になっている。2015年には30%、10年後には増加し続けて33%になる、全国に先駆けて高齢化を体験する地域になると思う。高齢化の進んだ地域ではどのような医療・福祉がふさわしいか。

福祉の面では、在宅での介護を支えるヘルパーやケアマネージャーの事務所（居宅介護支援事業所）、デイサービスやショートステイを受け入れる事業所、事情により長期入所が必要な特別養護老人ホームや有料老人ホームなどの入所施設である。

介護が必要になったら申請から利用までの手順を聞いた。介護保

険要介護1・5、要支援1・2、介護予防は自立して生活できると考えられる人である。介護保険制度のサービスを利用するには、医療機関にかかりつけ医（主治医）を持つことが必要である。

平成17年3月に当時介護保険制度の見直しを契機に、厚生労働省がめざしている予防重視型システムへの転機として提案している地域密着型サービスが高浜町においても必ず必要となる制度であり、高浜町高齢者保健福祉計画（たかはまハートプラン）を基に小規模・多機能施設開設趣意書を提出されたが、反応が厳しかった。有志の後押しもあり平成19年1月4日高浜町指定地域密着サービス事業所となる。

開設後5年が経過したが入居者の多くは、他府県の方の利用である。デイサービスやショートステイ等も地元の方々に気楽に利用してほしいとのことであった。

福祉施設側としては、社会保険高浜病院の存続問題が重要であり、病院がなくなったらどうしようかと不安との意見をうかがった。福祉に対して詳しく説明を聞く事ができた。

## 鳥獣害防止対策特別委員会

委員長 山本 富夫

## ◆町内の獣害状況について

獣害の近況報告をまちづくり課より説明を受けた。アライグマの捕獲強化で平成20年度～22年度をピークに大幅に減少しているデータが示された。反面シカの捕獲対策が実施されず被害増大懸念の状況。対策として小浜ビーストキヤッチを高浜で実施する場所選定を検討中との報告であった。

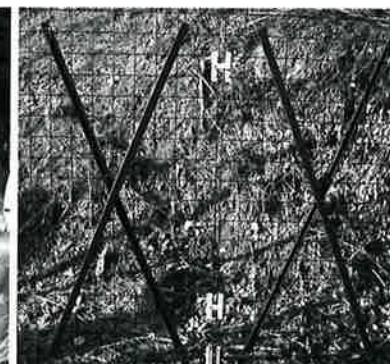
## ◆おい町獣害防止柵設置区域視察

おい町山ぎわ恒久金網柵設置事業の現地視察を実施。事業総延長158・4kmでH23年度から事業開始し総工費約17億6千万円で農水省「鳥獣被害総合防止対策交付金」、経済産業省「電源立地対策交付金」と一般財源で地元負担金なしで実施されていた。

実施に当たっては鳥獣害防止対策協議会が設置主体となり各集落間との協議とルールを明確にして実施後の問題点が発生しないよう工夫された組織は非常に参考になる事案であった。

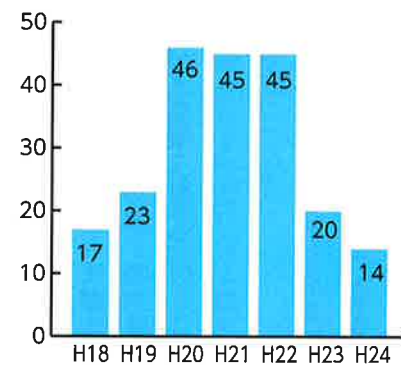


おい町現地視察



おい町恒久金網柵

■アライグマ捕獲数の推移



## 若狭消防組合議会

委員 井ノ元 康夫

## ◆10月9日(火)

◇若狭消防組合消防本部3階

◇会期は1日限り14名全員出席

松崎晃治若狭消防組合管理者から認定1件と議案4件が上程された。

## ●認定第1号

平成23年度若狭消防組合一般会

計歳入歳出決算の認定

決算の概要については、歳入総額15億3596万9442円、歳出総額15億1431万4232円。

歳入歳出差引額2165万5210円であり平成24年度へ繰り越し、翌年度に繰り越すべき財源はないため、実質収支額は歳入歳出差引額と同額となった。

【全員賛成で認定】

## ●議案第1号

若狭消防組合広告式条例の一部改正

若狭消防署上中分署の新築に伴い、掲示場の位置を現在の若狭町役場上中分署前から上中分署前に変更する為の改正である。

【全員賛成で可決】

## ●議案第2号

若狭消防組合火災予防条例の一部改正

近年の電気自動車の普及により設置が進められている急速充電設備を、対象火気設備等とするように関係省令が改正されたことに伴い電気自動車用の急速充電設備を設置する際の位置、構造および管理に関する基準を定め、あわせて所要の改正を行うもの。

【全員賛成で可決】

## ●議案第3号

財産の取得について

平成24年9月6日に高規格救急自動車の指名競争入札が行われ落札され、若狭消防組合の財産として取得するためのもの。

【全員賛成で可決】

## ●議案第4号

財産の取得について

9月6日に行われた指名競争入札で消防ポンプ自動車CD-1型の落札業者が決まり契約を締結するもの。

【全員賛成で可決】

# 第3回 町議会 出前報告会 開催!!

会場1/高浜文化会館  
高浜町議会 出前報告会

会場2/内浦公民館



会場3/保健福祉センター



会場4/青郷公民館



## 活発な意見交換を行い、多くの貴重なご意見をいただきました!!

11月7日、9日に、第3回目となる高浜町議会の出前報告会を開催いたしました。今回の出前報告会では、過去2回の結果も踏まえて、できるだけ参加住民の方と議員との意見交換に多くの時間を割いて運営しました。

あいにく、今回の参加者は前回よりも少なくなりましたが少人数で踏み込んだ意見交換ができ多くの貴重なご意見をいただきました。

今号の議会だよりでは、意見交換で頂戴したご意見に対する議会としての対応状況をいくつか紹介いたします。

なお、高浜町議会のホームページでは他のご意見も含めて紹介しておりますのでご覧下さい。今後も年2回の議会出前報告会を継続してまいりますので町民の皆様の参加をお待ちしております。

## ■議会出前報告会で出されたご意見と議会での対応

## ●役場の雰囲気や暗い。あいさつの徹底が必要ではないか。

**回答** 12月定例会で役場職員不祥事に関連して、職員の人事管理などに関し町行政との協議を実施。必要な対策について早急に実施することと、まずは挨拶の徹底を強く申し入れました。

## ●赤ふんバスの運行を拡大して欲しい(土日・夜間運行、通学利用)

**回答** 住民サービスの面から運行拡大を行政に要望しました。具体的には、当面、イベント開催時に土日、夜間運行を実施する。児童の通学利用は教育委員会と議会とで最適な方法を検討してまいります。

## ●新庁舎建設事業について ①事前説明が不十分 ②将来の財政に不安

## ③計画地は不適当ではないか。

**回答** ①議会では町行政から一定の説明は受けてきましたし議会でも出前報告会のテーマで意見交換を行いました。このように住民に説明してはいますが十分でなかった面もあります。今後も住民にしっかり説明するよう議会でもチェックしていきます。②財政については6月議会でもコンパクト関連事業に対し議会として付帯決議を行い財政上慎重な対応を求めています。

③総合的に判断して議会としても現計画地が適地と判断しています。

## ●瑞祥苑は土日も開館して欲しい。

**回答** 平成25年度から土曜日も開館する予定であると確認しました。日曜日の開館については、今後、土曜日開館の状況を踏まえて考えていきます。

## ●県内の町議会では高浜町だけが政務調査費の交付を受けている。本当に必要なのか使途を示して欲しい。

**回答** 政務調査費は、議員の視察研修のあり方を見直して捻出した財源の範囲内で交付しています。また、調査対象や使途には厳しい基準を設定し精算後に不使用分は返金します。各議員が得意分野の調査に活用できるように効果的だと判断しています。

討論 請願第2号

「非核平和都市宣言」採択

賛成討論 渡邊 孝 議員

請願者が日本共産党などの理由で否決されるが、原子力発電の問題には一言も触れておらず核兵器廃絶の為の請願であることから原案に賛成する。

反対討論 栗野明雄 議員

高浜町は核を平和利用している町であり核兵器をなくす意味は理解するが、非核都市ではなく平和利用宣言をしている。よって高浜町にはそぐはない請願であるため反対する。

【賛成少数で不採択】



討論 陳情第3号

住民の安心・安全を支える公務・公共サービスの体制・機能充実を求める陳情

賛成討論 渡邊 孝 議員

新たな政府に提出する方が望ましい理由で委員会は否決されたが、どのような政府であっても国と地方の共同を強め、公務公共サービスの体制機能の充実を図って、防災対策など住民の安心、安全確保するための必要な国の出先機関や機能の充実を図って欲しい陳情であり全くその通りで賛成すべきである。

【賛成少数で不採択】

討論 議案第68号

平成24年度高浜町一般会計補正予算(第6号)

反対討論 渡邊 孝 議員

新たに補正される内容については不況対策、行政進展に伴う必要

な予算であり異論はないが、新庁舎・公民館建設費が計上されている。以前から庁舎はまだ使用できる耐震補強すれば15年は使用できる。新庁舎設計の予算は今は福祉に使うべきである。



賛成討論 山本富夫 議員

現在の防災・減災の観点から庁舎は47年を経過しており調査の結果相当な被害が予測される。教育会館については補強不可能であるなど厳しい判定がされている。

多くの町民の方が安心して利用できる庁舎、教育会館ではなく今や限界にきている。議会も議論し判断をした。耐震、省エネ、また安心、安全な防災の拠点となるよう時代にあった建物を設計するべきである。

【賛成多数で可決】

採決

●陳情第6号

地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の採択

【全員賛成で可決】

●議案第69号

平成24年度高浜町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

【全員賛成で可決】

●議案第70号

平成24年度高浜町介護保険特別会計補正予算(第2号)

【全員賛成で可決】

●議案第71号

平成24年度高浜町集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

【全員賛成で可決】

●議案第72号

高浜町議会政務調査費の交付に関する条例の全部改正条例

【全員賛成で可決】

●議案第73号

高浜町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

【全員賛成で可決】

●議案第74号

高浜町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

【全員賛成で可決】

●議案第75号

高浜町一般職の職員の給与に関する条例を改正する条例

【全員賛成で可決】

●議案第76号

高浜町特別職の職員の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例

【全員賛成で可決】

●議案第77号

高浜町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

【全員賛成で可決】

●議案第78号

団体宮中山間地域総合整備事業(一般型) 高浜地区の計画変更

【全員賛成で可決】

●議案第79号

高浜町の道の駅の指定管理者の指定

【全員賛成で可決】

●同意第6号

監査委員の選任

【全員賛成で同意】

●同意第7号

固定資産評価審査委員会の選任

【全員賛成で同意】

●諮問第2号

人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて

【全員賛成で適任】

●発委第9号

高浜町議会委員会条例の一部を改正する条例

【全員賛成で可決】

●発委第10号

高浜町議会会議規則の一部を改正する規則について

【全員賛成で可決】

●発委第11号

地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書

【全員賛成で可決】

●発委第12号

過疎地の郵便局効率化推進に反対を求める意見書

【全員賛成で可決】

2ページ「トピックス」に掲載



## 傍聴にお越しく下さい

傍聴の手続きは、議会事務局で住所・氏名・年齢を記入していただくだけです。  
次回定例会は3月です。お待ちしております。

**高浜町議会事務局 ☎0770 (72) 7710**

結成から53年!!

# 山吹グループ

わら細工に心をこめて…

「良い年になりますように!」

暮れもおし迫ったある日、結成53年、80歳前後の皆さんが今も元気に現役で活動をされている、蘭部区「山吹グループ」を訪ね、お話を聞かせていただきました。

「山吹グループ」の皆さんの活動は、昭和34年に当時の若妻が7人で、小遣いをつくるためにお正月のしめ縄を作り販売したのがきっかけで、その後は育苗ハウス作り、共同転作、むらの生活技術の伝承、地域農産物の上手な活用、味噌作り等々女性グループのさきがけとして、常にチャレンジ精神を忘れず、今日まで続いています。

わら細工は毎年、しめ縄や干支置物を手作りで何百も制作し、注文先や学校、福祉施設にバイクに乗って自ら配達されています。

今年の干支置物「巳」は、時間さんがデザインをし、松岡さんが着物をほどこして手作した袋、首にはご縁がありますようにと五円玉が付けられた、なんとも縁起のいい温かみのある作品に仕上がって

います。

さて、人生の達人である「山吹グループ」の皆さんに、長く続ける秘訣をお伺いすると、まずは地域、ふるさとを想う心が一番にあると、百姓だから新米を刈り取った後のわらで細工物を作ってみよう、お味噌も米から麴を作ってみよう、お味噌も米から麴を作ってみよう、そんな事を一緒に楽しむ仲間がいること、わずかでも収入があること、何より健康で働けることに日々感謝しているとおっしゃっていました。



(上)作業中の萩野さん  
(右)今年の干支置物「巳」



写真左より 時岡満里子さん(80歳)、  
萩野和枝さん(77歳)、松岡静さん(84歳)

そして更に元気の源はグループの仲間たちとの温泉旅行や、カラオケ、笑って、しゃべって…楽しいお話はいつまでも尽きません。

今後の抱負は、2、3年かけて次の世代にわら細工等の技術を伝えていきたい。そしてこの活動を伝えていきたいと意欲満々に語っておられます。今回「山吹グループ」の皆さんのお話を聞かせていただき、50年以上にわたる活動の中から出る言葉の重みを、しっかりと受け止め見習いたいと思います、改めて心を新たにビッグマザー達に敬意を表します。

文責 大塚ひとみ

## 編集後記

謹んで新春のお慶びを申し上げます。町民の皆様の御健勝を併せてお祈念申し上げます。

昨年は国政に於きましては、衆議員の総選挙があり、自民党の圧勝による第二次安倍政権が誕生致しました。国内外の諸問題山積の新しい政権の船出となりました。

我が高浜町も新年を迎えて発展進進いたしました。今、この不景気な世の中、我が町は基幹産業もなく如何すべきか、町として一抹の不安材料が多くあります。例えば、原発の再稼働の問題、社会福祉に於ける少子高齢化に伴う介護福祉問題、町民が安心して掛かれる病院など問題山積しております。この難問題をひとつひとつ解決できるよう町長を先頭に皆さんのお力を出して頂いて、より住みよい町づくりを目指しましょう。

皆様の意見や情報をお待ちしています。よろしくお願い致します。

## 広報特別委員会

文責 廣瀬とし子

委員長 井ノ元康夫  
副委員長 上尾 徳郎  
委員 大塚ひとみ  
廣瀬とし子

山本 富夫  
西出 秀雄